

みやぎの

おおひら 議会だより



令和3年度決算認定
決算審査特別委員会
一般質問

みんなで作った3畳大凧
(スカイハイおおひら)

9月定例会

億9,700万円

一般会計歳出 55億9,963万円 (前年度比5.8%増)



ワクチン小児接種

令和4年第3回定例会は、9月6日から16日までの11日間にわたり開かれた。村長提出案件は、同意1件、条例改正1件、辺地計画の変更1件、請負契約1件、令和4年度補正予算7件、報告2件、令和3年度各種会計決算認定7件の全20議案が提出され、全て原案どおり可決された。

議員からは条例改正1件が発議され、原案通り可決された。一般質問は4名の議員が質問し、13Pから16Pに掲載しています。

◎翌年度繰越内訳

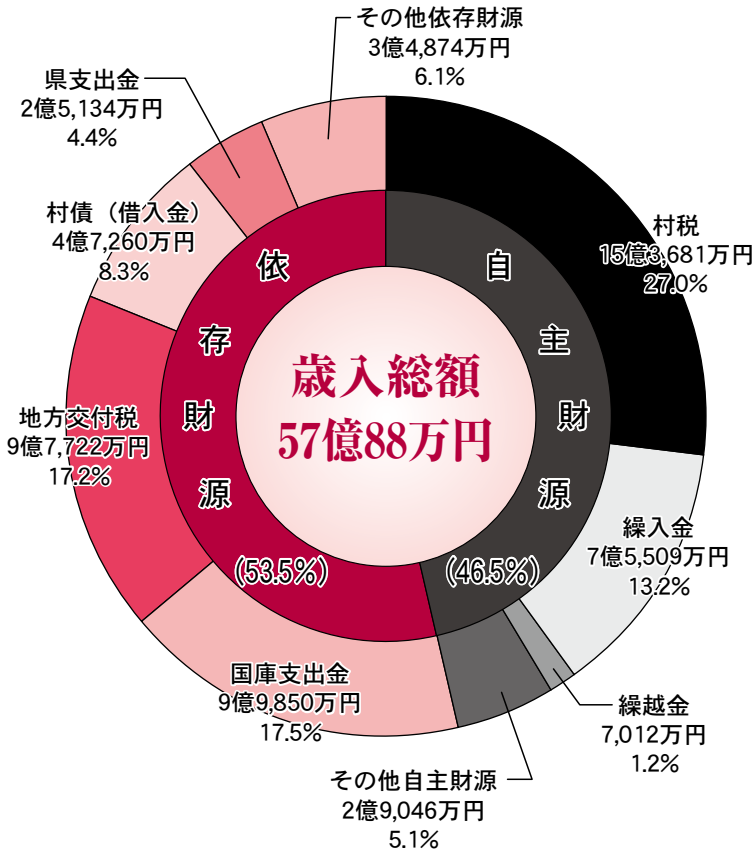
総務費	1件	264万円
民生費	1件	20万円
土木費	7件	2億2,472万円
合計	9件	2億2,756万円

◎各種会計決算

会計別		歳入決算額	歳出決算額
特別会計	国民健康保険事業	4億8,366万円	4億6,534万円
	下水道事業	2億5,052万円	2億4,563万円
	介護保険事業	6億7,178万円	6億2,102万円
	戸別合併処理浄化槽	4,568万円	4,329万円
	後期高齢者医療	5,819万円	5,790万円
水道事業	収益的収支	2億4,428万円	2億1,120万円
	資本的収支	849万円	4,318万円

令和3年度
決算認定
全会一致

新型コロナ対策に2



◆ 一般会計決算の概要 ◆

令和3年度は新型コロナ対策として各種事業が実施された。

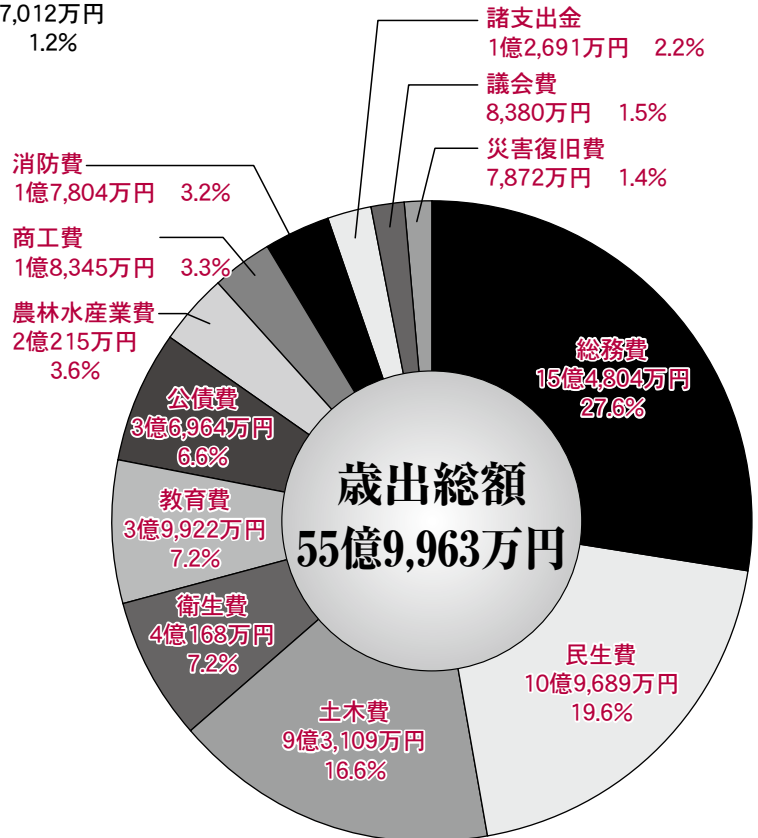
主な内容は次のとおり

- ① 子育て世帯支援給付金 … 1億1,133万円
- ② 感染症拡大防止協力金 …… 2,762万円
- ③ 住民税非課税世帯給付金 … 3,843万円
- ④ 農業経営支援事業 …… 2,443万円
- ⑤ 家計支援消費拡大事業 …… 1,751万円
- ⑥ ワクチン接種事業 …… 5,775万円
- ⑦ 教育施設・支援体制整備 … 1,383万円
- ⑧ 福祉灯油購入支援 …… 163万円

◆ 監査委員審査意見 ◆

改善点・要望点

- ① 各会計の繰越未納額は1億1,029万円で、前年度より3.5%縮減されている。滞納者ごとの収納計画により未納額の縮減に努められたい。
- ② 物品備品の管理については改善が図られているが、村財務規則の見直しが必要である。
- ③ 多くの公共施設の老朽化が進み、早急な改修が控えている。公共施設総合管理計画に基づき実施計画を進められたい。



補正 予算

◎各種会計補正額

会 計 別		補 正 額	予 算 額
一 般 会 計		9,009万円	46億6,290万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	133万円	4億8,333万円
	下水道事業	6万円	2億3,606万円
	介護保険事業	5,075万円	6億9,638万円
	戸別合併処理浄化槽	166万円	4,566万円
	後期高齢者医療	60万円	5,838万円

福祉センター修繕工事

問 福祉センター修繕工事の詳細は。玄関前のスロープ等も改善されるのか。

答 玄関前のタイルの傷んだ部分の補修が主で全面改修ではない。



福祉センター入口修繕工事

農業費補助金

問 環境整備支援事業と農地利用効率化支援交付金の交付対象は。

れるものを追加する。

農地利用効率化支援交付金は、農業機械施設の導入に対し国で助成するもので、コンバインを導入する1法人に補助するもの。

答 環境整備支援事業は当初予算計上分の残額が少ないため、今後申請が見込ま

主 な

質 疑

庁舎修繕工事

問 庁舎及び平林会館の修繕工事費として6月補正後、さらに463万円を追加しているが、修繕工事の詳細は。

答 3月の地震による被害の修繕工事である。庁舎3階議場は天井の被害が当初の見込みより大きく、修繕工事内容が増加した。

さらに庁舎と平林会館の接合部分の修繕等もあり工事費の追加が必要となった。



修繕工事中の平林会館

コロナワクチン接種

問 陽性者の全数把握が変わり、感染者数は県内全数しか報道されなくなったが、村の感染者数は把握できるのか。

答 保健所と市町村との連絡体制や、村コロナ対策室の業務内容に変更はあったのか。

問 仙台市とそれ以外の市町村の合計数だけで、市町村ごとの感染者数は県から通知はないのでわからない。

答 保健所からの感染者に関する情報連絡は特にない。コロナ対策室も業務内容が減ったので現在は健康福祉課内で業務にあたっている。

コロナ生活支援物資

問 コロナ感染者や濃厚接触者への生活支援物資の支給状況は。

答 本年9月受付まで126セットの申し込みがあり支給した。今後もチラシやホームページで広く周知していきたい。



村からの支援物資

計画変更

辺地総合整備計画の変更

問 令和4年度辺地整備計画全体の辺地債の範囲内で、他事業に充てられないか県と協議している。

答 令和4年度辺地整備計画全体の辺地債の範囲内で、他事業に充てられないか県と協議している。

問 住民バスを購入から修繕に変更することで辺地債が減額になるが、減額分は他事業に充てられるのか。

答 普通車に比べてバスの耐用年数は長いので、修繕後数年は運行できると考えている。

主な質疑

変更の概要

村民バス購入費 2,800万円



村民バス修繕費 240万円

改正される条例と変更内容

条例名	職員の育児休業等に関する条例 昨年8月の人事院勧告に基づく、「妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のために講ずる措置」の一環として、「非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得条件の緩和等の措置」による改正。
条例名	大衡村議会委員会条例 委員会のオンラインを活用した開催について改正。

条例改正

チェック

令和3年度各種会計決算審査のため、決算審査特別委員会（委員長 佐々木春樹・副委員長 小川克也）が10日間にわたり開かれました。

特別委員会では課長などに質疑を行い、慎重審議した結果「認定すべき」と決定し、9月16日の本会議で議長に報告しました。



佐々木春樹委員長

主 な 質 疑

通園バス・こどもの安全

問 通園バス運行マニュアルの作成状況は。また、利用登録者数と職員の乗車体制は。

答 バス運行はマニュアルを策定し運転手の健康チェック、車内の安全確保と乗降時の人数チェックをしている。利用登録は10名で、運転手以外にこども園の保育支援員1名が添乗している。

問 バスの小型化の考えは。

給食センター

問 給食センター建設予定地の松は全部伐採されたので、冬季は風雪が強くなる。環境保全の点からも植栽が必要ではないか。

答 給食センター建築後の風雪の状況をみて今後検討していきたい。

問 給食センター建築により、中学校講堂への搬入や出入りが制限されるが対策は。

答 外構工事で駐車場は確保される。センターと中学校への通路に出入り口を設ける予定である。



安全に保護者のもとへ

決算 質疑

お金の 使いみちを 厳しく

美術館絵画修復

問 絵画の修復業務がされており、業者は「作品の展示保存環境に由来する問題が今後発生しやすい」との所見であった。年次計画をしていくのか。

答 修復が必要になる絵画は20点ほどあり、費用がかかる状況である。今後計画的に行う。

問 小中学校での美術館見学、コンクールへの出品を強く要請しては。

答 中学校においては、美術部もあることからお願いしていく。

村有地管理

問 土地開発基金で取得した土地の現状と今後の利用計画は。

答 基金で取得した土地は利用計画がないため、当面は普通財産として管理していく。

問 村有林で分収契約している土地が52haあるが、契約時期、件数、相手方は。今後の管理状況は。

答 昭和30年代に契約しており、5地区7件である。当時の行政区長を代表者とし、契約は現在も継続している。木材伐採時に収益を分配する契約内容であるが、今後検討していきたい。

入札の公表

問 公表している16回開催の入札状況と辞退や失格などで途中中止とした件数は。

答 条件付き一般競争が1件、指名競争が63件で、入札参加者の辞退で応札者が1者になり3件を中止した。

問 予定価格の公表時期は。また、公表している入札参加者名と予定価格をホームページの公表に追加しては。

答 予定価格は指名入札参加通知の際に公表している。公表事項の追加は、自治体の例を参考に検討する。

消防団

問 令和3年度中の団員の加入や退団の状況、現在の団員数は。

答 入団者が3名、退団者が9名である。令和3年度末の正規団員数は140名、OB団員が30名である。

問 分団の再編問題とポンプ車など今後の装備計画は。

答 団員数が減少している中で、団員の年齢制限や分団の再編は検討しなければならぬ課題である。ポンプ車の配備も併せて検討していく。



修復された美術館の絵画

決算審査特別委員会



大衡産ひとめぼれ使用「村じまん」

地場産品奨励

問 酒米作付・地場産品奨励金の詳細は。

答 酒米奨励金8万円は、令和3年度で最終年度になる。地場産品奨励金は3か年での補助金であり、令和4年度までである。

問 大衡の酒米でなくなれば、売り上げも下がり今後のあり方を考える必要があるのでは。「村じまん」せんべいの現状は。

答 万葉美人については、状況を把握し検討していく。「村じまん」せんべいは1万枚以上の売り上げである。限定数量での販売になり、今後もPRしていく。

橋梁点検

問 点検計画橋の総数と年次点検計画の実態は。

答 村管理橋は62橋で、国の制度により5年に1回点検することになっており、2巡目に入っている。

問 海老沢橋も点検結果による修繕か。また、急ぎ修繕を必要とする橋は。

答 県管理河川に架かる橋のため、県の要請により塗装した。他にすぐ修繕計画の橋はない。

排水処理施設管理

問 水質の現況と、電気料金の増額要因は。

また、赤水処理基金の運用状況は。

答 原水はpH5・8、処理水は平均pH6・7の中性で安定し、電気料は施設の老朽化により消費電力量が増えている。基金残高は25億2668万円、運用収益の3584万円は施設管理費に充てた。

問 昭和45年稼働の老朽化した施設更新計画は。

答 令和2年度実施の施設ストックマネジメントに基づき、来年度から年次的に総額10億円で部分更新整備を進め、5か年で2027年度の事業完了を計画している。

水道事業

問 純利益3308万円の要因をどう分析しているのか。

答 漏水調査結果を受け漏水箇所の修繕により水の有効利用が増え、有収率も77・9%で4・6ポイント改善による。

答 推定漏水量は毎時10㎡と認識している。水道料金は口径20ミリの10㎡までの基本料金で県内34事業体中18番目である。

問 使用料の未収金で、不納欠損処分した内容は。

答 私債権管理条例に基づき事業休止の法人3社で97千円、行方不明4名の58千円、相続放棄4名の637千円で計792千円を処分した。



水道管漏水修繕工事

ごみ対策

問 令和3年度における、ごみ散乱地区清掃23回の現状は。

答 散乱地区は仙台北部工業団地内であり、月2回清掃をお願いしている。

ごみ散乱地区には監視カメラを設置し、パトロールを行っている。

問 不法投棄監視員の活動状況は。

答 監視員4名で、月2回巡視し、ごみの回収をしてもらうこともある。

問 役場駐車場に設置した古紙回収倉庫の状況は。

答 4月に設置してから、3回古紙回収業者に依頼している。

農業振興費

問 畜産振興費と林業振興の有害鳥獣対策費は農業振興費予算に含めてもよいのでしょうか。

答 事業目的からみて、農業振興にかかる予算科目は今後検討していきたい。

村営住宅

問 村営住宅の入居状況と公営住宅としての今後の管理は。

答 五反田住宅が53戸、五反田北住宅が21戸、河原住宅が49戸、定住促進住宅が63戸であり、合計230戸に対し入居戸数は186戸である。

五反田北住宅1号棟は老朽化しており、改修せず令和5年度末までの入居となり、その後撤去する予定。

し尿処理事業

問 広域の処理施設へ搬入のし尿等処理量の内訳は。

答 し尿が841klで浄化槽汚泥が2117klと、し尿が主だった時代から見ると処理施設への搬入物は逆転した。

問 老朽化した、し尿処理施設の更新情報は。

答 昭和56年4月稼働の施設で、毎年整備を行い処理機能は維持しているが、施設全体の老朽化から機能診断を行い、黒川地域行政事務組合で検討に入っている。

介護保険

問 介護保険事業のうち、社会福祉協議会へ委託している介護予防事業の内容は。

答 委託事業として、いきいきサロン、介護予防リハビリ指導、生活支援体制整備や、元氣アップ教室等で介護福祉士の協力をいただいている。

問 村ホームページに掲載されている介護保険料が、改定前の保険料率金額のまま更新されていない。

答 確認しておらず指摘のとおりである。早速正しい保険料に更新し、今後そのようなことがないように注意していく。



役場駐車場内の古紙回収倉庫



撤去予定の五反田北住宅1号棟

一般会計

討論 (要旨)

賛成

佐野 英 俊 委員

国の予防ワクチン接種施策を受け、職員84名の中で併任発令によるチームが編成され、短期間でワクチン接種の体制が構築されたが、担当職員はもとより所属課においては、職員が削減され大変であったと思われる。3月16日深夜に発生した地震の際にも、ほぼ全職員が出勤したことは、職員の災害に対する意識の高さを示すもので執行部の労苦に感謝する。

予算総額58億9363万円に対し収入済額が57億88万円、各種事務事業遂行のための歳出決算額は55億9962万円で、令和3年度の施政方針にのっとり適正に執行された。

今後も健全な財政運営を堅持し、行政サービス及び福祉の向上に向け、効率的効果的な事務事業に取り組むよう切望し賛成する。

決算審査特別委員会採決
一般会計ほか全会計を
認定すべきと決定

任命
同意

教育委員の任命

大衡村教育委員会教育委員の任命について、議会の同意を求められ、全会一致で同意しました。

任期

4年 (R4.10.1~R8.9.30)



教育委員
渡邊 勇氏

令和4年9月定例会提出議案 21件

同意第 5号 大衡村教育委員会教育委員の任命	認定第 1号 令和3年度大衡村一般会計歳入歳出決算認定
議案第41号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正	認定第 2号 令和3年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定
議案第42号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	認定第 3号 令和3年度大衡村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
議案第43号 令和4年度大衡村一般会計予算の補正	認定第 4号 令和3年度大衡村介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定
議案第44号 令和4年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	認定第 5号 令和3年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算認定
議案第45号 令和4年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正	認定第 6号 令和3年度大衡村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
議案第46号 令和4年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正	認定第 7号 令和3年度大衡村水道事業会計決算認定
議案第47号 令和4年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正	議案第49号 令和4年度大衡村学校給食センター整備工事（電気設備）の請負契約
議案第48号 令和4年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正	議案第50号 令和4年度大衡村一般会計予算の補正
報告第 2号 放棄した債権の報告	発議第 2号 大衡村議会委員会条例の一部改正
報告第 3号 健全化判断比率並びに資金不足比率の状況	

◇採決状況◇

○賛成 ×反対 議長（細川運一）は採決に加わらない。

	小川 克也	佐野 英俊	石川 敏	小川 ひろみ	赤間 しづ江	佐々木 春樹	文屋 裕男	高橋 浩之	遠藤 昌一	佐々木 金彌	佐藤 貢	細川 運一	議決結果 (賛成:反対)
同意第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	同意 (10:0)
議案第41号～第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決 (10:0)
報告第2号～第3号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告は採決しない
認定第1号～第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定 (11:0)
議案第49号～第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)
発議第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)



4名の議員が登壇

議場が工事中のため

平林会館で開かれた9月定例会

質問者一覧表

佐々木 春 樹

・民生委員活動費の見直しをすべきではないか

石 川 敏

・子育て支援・くらしやすさ支援の拡充を

佐々木 金 彌

・村の交通施策を見直してはどうか

赤 間 しづ江

・75歳以上の医療費負担割合見直しを問う

＝ 議会を ＝
傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

12月1日(木)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。



佐々木 春樹 議員

民生委員活動費の見直しを 活動費を含め仕組みなど検討する

問 民生委員活動費は、交通費や通信費の補助として県が年度当初に計上している。県内市町村で交付額が異なるという報道されたが、村の活動費の現状は。

村長 前年度実績は、県106万3480円、村103万円を補助金として支給している。うち活動費は180万1300円である。

問 活動費や研修費は国で助成すると民生委員法で定められているが、増額を考えているか。

村長 国の基準に基づき活動費に対する補助と研修費等に充てるための運営費補助がある。直近の改正状況は活動費が増額され1人6万200円、運営費補助も

増額補正され、令和4年度の補助金は県と村を合わせて2228万3480円となる。

問 民生委員のなり手不足の原因を分析しているのか。

村長 高齢化が進み、仕事や介護などで担い手は減少傾向で、職務の負担増や、理解の低さも要因と考えている。

また、給与報酬等の支給がなく、県と村の補助金合わせて、年間1人当たり約10万円から12万円程度で支給している。実際に活動に係る経費を勘案すると、必ずしも十分だとは言えない状況である。

問 活動費の増額が急務であると考えているか。

村長 活動費については、社会福祉協議会を通じ、県に増額要望している。今後、活動しやすい環境づくりに努め、費用を引き上げよう要望していく。

問 村としての対応はどうか。

村長 活動費をある程度増額するとか、民生委員活動のあり方などを検討したい。



民生委員の移動研修状況

子育て・くらしやすさ 支援の拡充を

事業見直しや新たな支援策も検討



石川 敏 議員

人口の動態

問 村の人口は近年減少傾向になっている。出生、死亡、転入、転出の状況や、今後の予測人口は。

村長 令和3年度では出生53人、死亡94人、転入176人、転出235人で合計100人減少し、年度末で5716人となっている。令和12年の人口は5217人と推計している。

各種祝金

問 妊娠支援券、出産祝金、入学祝金などの申請手続きを見直し、早期に支給できるようにできないか。

村長 要綱に基づき各種の申請手続きを定めている。できるだけ早く支給できるように努めていく。

支援制度

問 各種子育て支援制度に結婚の支援も考え、出産、入学など年代ごとの切れ目ない支援制度としてはどうか。

村長 理想的な子育て支援策とは思いますが、財源など総合的に勘案し判断したい。

住宅建築助成

問 定住促進の住宅建築助成は、対象者を40歳未満の世帯に制度を改正してから2年間で該当者が3件しかない。制度改正を見直すべきではないか。

都市建設課長 村内の住宅建築件数は把握していないが、従来の制度に比べ補助金の対象件数は大きく減少している。

空き家対策

問 空き家対策計画には村の支援策がないため、空き家バンクの実績が上がっていない。住宅改修費、家賃料支援、固定資産税減免などの具体的な支援制度をつくるべきではないか。

村長 空き家バンクに登録してもあまりメリットがない現状である。移住定住を進めるため支援策も考えていかなければならない。

支援策の財源

問 子育て・くらしやすさ支援策の財源として、ふるさと納税の寄付金を充当している。寄付金の使途や成果もっとPRし、財源の確保に努めてはどうか。

村長 本村のふるさと納税は伸びていない。魅力ある返礼品や充当事業を示し、ふるさと納税の方策を進めていきたい。



移住定住の増加を（ときわ台南住宅団地）



佐々木金彌 議員

交通施策の見直しを デマンド型交通の充実を検討中

交通施策

問 村では住民の足として、万葉バス・代替バス・スクールバス・通園バス・デマンド型交通や福祉バス・高齢者タクシー券などがある。特に万葉バスは利用者が少なく、「空気バス」と呼ばれている。バスの買替えが予定されており、交通施策について検討すべきと思う。各事業の年間経費と利用状況は。

村長 各事業の運行経費と利用者数は下表の通りです。

区 分		運行経費	利用者数
万 葉 バ ス	大森中学校線	1,258万円	56人/日
	他路線		3~8.5人/日
代 替 バ ス	駒場線	1,791万円	46.5人/日
ス ク ー ル バ ス	2台	850万円	30人/日
通 園 バ ス	2台	363万円	4.9人/日
高齢者タクシー券		397万円	215人/年

万葉バス

問 万葉バスは停留所まで遠く、週1便では利用できない等の声がある。他町では、デマンド型交通に重点を置いた施策が増えており、村でも検討すべきでは。

村長 昨年10月からデマンド型交通を試行運行しており、万葉バスの路線の整理や通学バスの便等について検討していく。

企画財政課長 代替バスは財源として特別交付税で運行経費の8割がみられている。スクールバスに一般住民が乗れるかなど、県や運輸局とも協議をしている。

交通体系

問 住民アンケート等で村民の声を聞き、交通体系を見直しては。移住定住を進めるうえでも買物、医療機関への利便性を考えるべきではないか。

村長 財政や住民の声を聞きながら、万葉バスとデマンド型交通の運行のあり方を総合的に検討していきたい。



運行の見直しが求められている万葉バス

75歳以上の医療費 負担割合の見直しは 2割負担の対象者は74人



赤間しづ江 議員

後期高齢者人口

問 団塊の世代が75歳以上となる、今後3年間の高齢者数と人口に占める割合は。

村長 本村の75歳以上人口は、現在830人で14・6%、7人に1人である。総人口が減少し、高齢者が増加となる令和7年には、国の試算に近い約20%、5人に1人になると推測している。

負担割合見直し

問 10月1日から、後期高齢者で一定の所得のある人は、医療費窓口負担が2割となるが見直しの背景は。

村長 医療費の増大や、支える現役世代の負担抑制を図り、国民皆保険を維持するために、一定以上の所得

のある方に負担を求めるところになった。

2割負担の対象者数

問 今回の見直しによって窓口負担が1割から2割になる対象者数は何人か。

村長 令和3年の課税所得が28万円以上で、年金収入とその他の合計所得金額が200万円以上の方であり、7月末で830人の8・8%、74人が対象となる。

負担を抑える配慮措置

問 窓口負担2割となる方に負担を抑える配慮措置がある。どのような制度か。

村長 令和4年10月1日から令和7年9月30日まで3年間、2割負担による外来診療の増加額を、1か月3千円に抑える配慮措置がある。
窓口負担額が増えることによって、必要な受診を控えることのないようにするもの。

保健事業と介護予防

問 広域連合が市町村に委託して令和2年度から5年間のうちに実施される保健事業と介護予防の一体化であるが、村ではいつ取り組む考えか。

答 新型コロナウイルスの流行や専従する保健師の確保が難しいこと等から実施できなかった。
保健、介護事業で、保健師の兼務も認められたため人的体制を強化し、令和6年度からの実施に向けて準備を進めている。



人生100年時代を健やかに！

第2回臨時会

令和4年8月12日

請負
契約

学校給食センター整備工事

契約目的	建築	機械設備
契約金額	3億2,010万円	2億1,226万円
契約相手	(株)橋本店 仙台市青葉区立町27-21	(株)晃和工業 石巻市大橋2-1-1
工期	令和4年8月15日～令和5年7月14日	令和4年8月15日～令和5年7月14日

主な質疑

問 条件付一般競争入札の条件と入札参加資格審査及び入札の状況は。

答 特別な条件は学校給食センター工事の請負実績で、入札には建築で5者、機械設備で2者が入札参加資格申請し、審査適格となり入札に応じた。

問 予定価格と落札率は。

答 建築の予定価格は税抜き3億3769万5千円で落札率は86・2%で、機械設備は税抜き1億9510万4千円で落札率は98・9%である。

問 電気と厨房設備の工事発注予定は。

答 電気工事は建築・機械設備と同時に入札公告したが、参加申請が1者あり、辞退したため事業全体の工程から指名競争入札に変更し発注を予定。

厨房設備は物価高騰による事業費の増額、債務負担行為限度額の変更が必要であるため、予算補正後に備品購入事業として一般競争入札を予定している。



学校給食センターイメージ図

一般会計補正

- ◎補正額 1億5,897万円 予算額 45億7,281万円
- ◎債務負担行為 令和5年度学校給食センター整備事業
限度額 5億800万円 ⇒ 6億1,800万円
- ◎災害復旧債 限度額 2億9,830万円 ⇒ 3億2,340万円

補正
予算

主な質疑

給食センター債務負担

問 令和5年度分の債務負担行為予算額が、5億800万円から6億1800万円に増額となる理由は。

答 建築工事資材の高騰や厨房機器予算を設備工事から備品購入に振り替えることにより、建築工事費総額が増えるため。

問 給食センター建築の予算総額が、9億円以上に増えるが財源はどうするのか。

答 防衛施設整備調整交付金と、起債や一般財源の増額で対応する予定。

農業施設災害復旧

問 被災農家からの補助申請手続きや、工事実施から補助金交付までのスケジュールの見通しは。

答 年内中に申請を締め切り秋以降に工事着手し、完了前でも概算払いで補助金を交付していきたい。

7月大雨による被害状況調査

- ・降水量 7/15～7/16
227.5mm（観測史上最大）
- ・避難者 衡下地区 …… 4世帯10人
- ・建物被害 衡下地区 …… 床下浸水2戸
- ・農業被害
農地100か所 …… 冠水100ha
農業用施設 …… 37か所
農作物被害額 …… 100万円
復旧見込額 …… 5,000万円
- ・公共土木被害
道路 …… 49か所
河川 …… 22か所
復旧見込額 …… 1億630万円



駒場川の被害状況

王城寺原演習場 対策特別委員会

調査年月日：令和4年7月5日

現地調査

◎王城寺原演習場周辺障害防止対策県営事業

- ・金堰1号ため池
- ・尾無堰用水路

◎防衛施設周辺整備調整交付金（9条交付金）

- 令和3年度 2億1,337万3千円交付
- 令和4年度 7,429万8千円交付（一次交付分）
（今年度も米軍の移転訓練が予定され、実質的には昨年同様見込み）

◎調整交付金の充当事業

- ・五反田運動広場整備
- ・万葉すくすく子育て医療費
- ・西沢用排水路整備
- ・学校給食センター整備

◆調査を終えての所感・意見

金堰1号ため池はほぼ完成状況での現地調査で、完成後は住民での管理になるとの説明を受けた。今後の施設管理の課題を検証していく必要がある。障害防止対策については、これからも住民の意見をもとに強く要望していく。



金堰1号ため池現地調査

調査年月日：令和4年7月11日～13日

デマンド型交通の導入

◎町民バスの見直し

- ・平成18年 本格運行
月曜～金曜 町内4コース
- ・平成23年 毎日運行 町内全域

◎デマンドの概要

- ・川西町が事業主体
- ・委託先 町内タクシー会社（3社）
- ・料金 500円（片道 小学生以上）

◎住民の声を反映

- ・町民アンケートを毎年実施

◆調査を終えての所感・意見

デマンド運行の運営方針は、極力財政負担の少ない方式を採用している。

又、運行については、直営ではなくタクシー会社に委託しておりドライバーの安心・安全な運行が期待されていると感じた。

山形県 川西町



秋田県 美郷町



空き家対策・移住定住

◎空き家対策

- ・危険空き家の解体補助金制度

◎移住・定住

- ・美郷暮らしサポート事業
おためし移住体験補助金
交通費3万円/1人 5万円/1世帯
- ・新婚生活支援助成金
- ・空き家等活用移住定住促進事業
空き家解体経費1/2 …… 50万円
賃貸住宅建設 …… 300万円
- ・空き家バンク成立奨励金 …… 1件5万円

◆調査を終えての所感・意見

空き家対策・移住定住の取り組みについて各事業ごとに補助金制度が取り入れられており、行政の手厚い支援と前向きな取り組みの姿勢が感じられた。

調査年月日：令和4年8月4日

新地域交通システム【デマンド型交通】

◎利用状況（令和4年7月末現在）

区 分	令和4年4月～7月の実績
運行日数	74日（週5日運行）
乗車人数	502人
1運行日当たり平均人数	6.8人
1運行日当たり平均乗車率	22.6%
上り利用者（大衡→大和）	267人（3.6人/運行日）
下り利用者（大和→大衡）	235人（3.2人/運行日）
登録者	196人



ご利用をお待ちしています

◎万葉バス利用状況（令和4年7月末現在）

区 分	令和4年4月～7月の実績	
5 路 線 計	運行日数	81日
	便 数	567便
	乗車人数	5,714人
	1日当たり平均人数	70.5人
	1便当たり平均人数	10.1人

※5路線：大森中学校線、大森線、大瓜線、大森椋田線、衡上松原線

◆調査を終えての所感・意見

利用登録者数は196人で1日平均の利用者も7人であるが、引き続き利用者の声を聞き、利用しやすいデマンド型交通の構築が必要である。

また、万葉バスは児童生徒の通学利用を合わせても1便当たりの平均乗車人数は10.1人であり、デマンド型の本格運行に併せて地域交通全体の見直しが必要である。

後期高齢者医療制度窓口負担割合の変更

◎改正の概要

医療費の増大や現役世代の負担抑制のため、令和4年10月1日から一般所得者等のうち一定以上の所得がある方は、医療費の窓口負担が2割となります。

令和4年9月30日まで	
現役並み所得者	3割
一般所得者等	1割

令和4年10月1日から	
現役並み所得者	3割
一定以上の所得のある方	2割
一般所得者等	1割

◎対象者

令和3年中の住民税課税所得が28万円以上かつ、※「年金収入＋その他の合計所得金額」が200万円以上の方
※（世帯に被保険者が2名以上いる場合は、合計320万円以上）

◎配慮措置

令和4年10月1日から令和7年9月30日まで、2割負担による外来診療の負担増加額月3,000円に抑える。

マイナンバーカードの普及状況（令和4年6月末現在）

区 分	大衡村	宮城県	全 国
申請受付件数（人口割合）	2,654件（45.21%）	1,167,585件（51.16%）	66,780,664件（52.73%）
交 付 件 数（人口割合）	2,298件（39.15%）	1,002,226件（43.92%）	57,311,975件（45.25%）

調査年月日：令和4年7月19日/8月3日

学校不登校対策・学力向上対策

- ①不登校の状況（令和4年6月末）
 - 小学校：3名
 - 中学校：7名
- ②心のケアハウス来所児童生徒数（令和4年6月末）
 - 小学校：0名
 - 中学校：3名
- ③大衡塾参加児童生徒数
 - 小学校：5，6年生：53名
 - 中学校：1～3年生：52名



大衡塾（小学5,6年生）

◆調査を終えての所感・意見

小中学校児童生徒の不登校長期欠席者の割合が高い。特に中学校は2，3年生の欠席生徒が多く、全生徒数の10%を超えている。
大衡塾については、成果が上がっているか検証分析がされていない。具体的な目標を検討すべきである。

イノシシ対策

- ①イノシシ捕獲頭数（令和4年6月末） 36頭
- ②有害鳥獣駆除実施隊活動状況（令和4年6月末）
実施隊員数 24名

わな設置、撤去	27人	55日
わな見回り	44人	256日
止めさし	9人	28頭
処理等	4人	4日
予察捕獲	3人	3日
その他	13人	13日
手当支給額合計	1,136,500円	

- ③被害防止対策（令和4年6月末）
被害防止電気柵購入補助 16件
補助金 1,159,000円

- ④野生イノシシ豚熱の確認
令和4年7月26日村内において死亡イノシシから、宮城県内140例目の豚熱が確認された。

◆調査を終えての所感・意見

イノシシ捕獲頭数は令和元年度から横ばい状況である。
出没場所も西部地区から衡東や大森地区にも見受けられ拡大している。

地場産品創出の取り組み

- ①尚絅学院大学との連携協定（令和2年2月21日締結）
- ②地場産品創出奨励金
せんべい「村じまん」の試作開発
販売拡大費用として奨励金を交付 令和2年度～令和4年度 計150万円

◆調査を終えての所感・意見

せんべいの単価が高いので、村として原材料や製造への支援策も必要ではないか。
せんべいだけでなく、他の観光用パンフやグッズの商品開発も検討すべきである。



大衡中学校 2年
ほんだ まりん
本多 舞琳さん

笑顔にするパン

私の将来の夢は、パン屋さんになることです。なりたいたいと思った理由は、祖母の家でパンを作ったときに楽しいと思ったからです。この美味し

いパンをみんなにも食べてもらいたい、世の中の人たちを笑顔にしたいです。そのためにも、もっと美味しいパンの作り方を学んだり、どういった組み合わせのパンがいいのか調べたりしていきたいです。「みんなを笑顔にする美味しいパン」に近づけるよう頑張っていこうと思っています。

将来の



大衡小学校 6年
もり おん
森 才恩さん

ゲームプログラマーになりたい

ぼくは、将来、ゲームのプログラマーになりたいです。ぼくはゲームが好きで、とくにシューティングゲームが好きです。だから、ゲームのプ

ログラマーという仕事がとてもかっこいいと思うし、その仕事にあこがれています。将来は、自分の作ったゲームでいろいろな人に楽しんでもらいたいです。なので、プログラマーになるために、学校でもプログラミングの勉強を少しずつがんばっていきたいと思います。

青春・壮春・老春

へたっぴーず (衡東地区)

ふくち 福地 信一さん

6年ほど前に地区夏まつりの二次会で、昔ギターに触れたことがあるという方が3人いることがわかり、それではと盛り上がったのが始まりです。奥様方はオカリナを担当することになり、7人のメンバーで、地区夏まつりだけを目指し、楽器を持ち寄り集まっておりますが、練習は30分そこそこで、ごく自然に飲み会に流れていきます。

「青春は密なのです。」白河越えを果したした仙台育英監督の言葉にグッときました。壮春・老春もまた「蜜」いや「密」なのであります。

輝く村びと



青春真っ盛り??
名前負けしない「へたっぴーず」のメンバー

表紙写真



大衡中学校美術部員で制作した大凧です。

スカイハイ当日は風が弱く、高くあがりませんが、高くあがりました。楽しかったです。

あとがき

先日4年ぶりに開催された歩け走ろう大会に参加し、気持ち良い風を感じながらスポーツの秋を楽しんできました。今後もしスポーツ大会やレクリエーション大会を通じて、明るく健康な暮らしが少しずつ取り戻されることを願っています。

小川 克也

編集

広報広聴常任委員会

発行責任者

議長 細川 運一

